

平成 25 年度利用者アンケート自由意見集約

自由意見は、市民回答者延べ 222 件（複数回答あり）、市民以外の回答者延べ 60 件、合計 282 件を集計しました。市民回答者のうち、40 歳代が 58 件 26%、60 歳代が 46 件 21%、以下 50 歳代、30 歳代でした。

市民回答者の意見はおよそ 4 つのカテゴリーに分類されます。

- ①施設、設備等について 56 件 (25.2%)
- ②新刊等資料について 44 件 (19.8%)
- ③予約、検索機などのシステムについて 41 件 (18.5%)
- ④休館日・開館時間について 38 件 (17.1%) などとなっています。

市民以外の順位は、④15 件 25%、③13 件 21.7%、②10 件 16.7%、①8 件 13.3% の順位でした。なお、図書館利用への謝辞や支持等のご意見も全体で 38 件ありました。

①施設、設備等については、「大きな資料を広げられる台がほしい」「ゆっくり読めるスペースが少ない。いつもたくさん人がいて遠慮する」「図書館の資料を使った学習をしている人はあまり多くない、そういう方が利用できる学習室が他施設に充実しているといい」等のほかに、返却ポストの増設や、駐輪場の改善などのご意見がありました。

②新刊等資料については、「経済や I T の本は新しい書籍が必要。最新のものをに入れてほしい。絵本や子供向けの本は充実している」「蔵書が少なく、調べ物をしたくても資料がないことしばしば。自然科学系の蔵書（辞典、図鑑、解説書など）を増やしてほしい」「なるべくならアマゾン.com ですら扱わないマイナー系の本が「あそこの図書館にいけば読める」をお願いしたい」等のほか、地域・行政資料室の拡大や雑誌・新聞へのリクエストが寄せられました。

③予約、検索機などのシステムについては、「予約した自分の順番が来ても、多忙で借りられないときがあるので、自分で順番を下げられるようにしてほしい」「個人ページへも貸出機と同じくカードスキャンで入れると便利だ」「Web での検索機能を改善してほしい。使いやすい IF を希望」「パソコン検索が非常に便利だが、図書の概要をなるべくくわしく記載してもらえたら選択精度が向上し、無駄がなくなる」など、使い込まれた上での指摘が多くありましたが、アンケート実施時期がコンピュータシステム更新前であったため、更新後はかなりの改善を行えたのではないのでしょうか。

④休館日・開館時間については、「休館日が全図書館月ようだと困る。ばらばらにしてほしい」「長期の図書館の休館が残念」「最近学校の振りかえが月曜日に多いが公共の場は休みで使えず困る」「開館時間、開館日の拡大を、シニア等の雇用（ボランティア等の）利用をあわせてやるべき。職員だけでは無理だから」など、具体的なご提案を多数いただきました。

これらを総括しつつ、さらに、図書館の存在意義にまでご意見をいただきました。「誰もが無料で本が読める「図書館」は市民の文化であり財産だ。公共サービスが有料化することなく今後も利用できることを望む」「自動貸出機、使い方わからない高齢者への対応を。貸出返却がシステム化されたので、職員が「利用者の声」を聞く機会が少なくなったのでは。個性的な、職員の個性が出るような図書館にしてほしい」「書店が減少傾向にあるので、多数の蔵書を歩いて参照できる。図書館の重要性が高まっている。今後も、知識の宝庫として充実した運営を」などでした。